

ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i> (L.) Kuntze	絶滅危惧 I 類
(環境省:準絶滅危惧)		ミツガシワ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	沈水葉と浮葉を形成する水生植物。浮葉は円形から卵形で基部は深い心形、長さ8-20cm。花冠は白色、深く5裂し、裂片の内面に長毛がある。雄蕊は5本、花糸は短く、花冠の基部につく。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水田などに生育する。花期は7-9月。	
分布状況	東アジア、オーストラリア、アフリカに分布し、日本では本州から九州にある。岐阜県では県南の南部に見られる。	
減少要因	生育地の開発による埋め立てと、水質の悪化。	
保全対策	生育地の保全及び水質の改善。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘